教科名	地理歴史	科目	世界史選択（進学）	単位	3

１．教科書および副教材・参考書

教科書：『詳説世界史探究』（山川出版社）

資料集：『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）

用語集：『世界史用語集』（山川出版社）

問題集：『世界史マスター問題集』（山川出版社）

問題集：『世界史一問一答』（山川出版社）

２．授業の目標および内容

世界史選択では、ウィーン体制の成立から扱います。世界をとりまく情勢は刻々と変化しています。現在でも世界の至るところで戦争がおこり、戦争を介して新たな国家（政権）が誕生しています。このように国家誕生の歴史は、戦争の歴史と言っても過言ではありません。中世から近代にかけては、このように生と死をかけた人々の努力を経て、民主的な近代国家が誕生していきました。さまざまな過去の人々の努力により、自由・平等を基礎とした民主主義が形成され、現代世界の基礎が確立されたことを意識して下さい。そして、世界の諸地域には、さまざまな言語・生活習慣・宗教・文化などが数え切れないほど存在しています。すべてを理解することは困難ですが、それぞれの国家のあらましを理解するとともに、将来の日本を背負って立つ国際人としての資質を養い、異文化を寛容に受け入れる態度や姿勢を育むことで、人権的な偏見を無くし、国際協調の精神をもつための準備段階を整えることが授業の目標の一つです。

３．試験について

	1学期		2学期	
定期試験	一次　5月	二次　7月	一次　10月	二次　12月
学力試験	第1回　6月		第2回　9月	

内容・難易度について

① 定期試験：100点満点で出題

教科書のページではかなりの広範囲になります。

レベルも基礎から応用まで多岐にわたります。

② 学力試験：100点満点で出題

大学入学共通テストを意識した問題を出題します。

４．課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

５．評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（提出物、小テストの結果、課題レポート、学力テストの結果、授業態度など）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	近代西洋史	第13章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ①ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ②列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ③アメリカ合衆国の発展 ④19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	ＩＣＴを活用し、一方的な講義ではなく、双方向的な授業にする。
	近代東洋史	第14章 アジア諸地域の動揺 ①帝国主義と列強の展開 ②世界分割と列強対立 ③東アジアの激動	各単元終了後に、小テストを実施します。
	現代史① （大戦期）	第15章　帝国主義とアジアの民族運動 ①第２次産業革命と帝国主義 ②列強の世界分割と列強体制の二分化 ③アジア諸国の変革と民族運動 第 16 章　第一次世界大戦と世界の変容 ①第一次世界大戦とロシア革命 ②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ③アジア・アフリカ地域の民族運動 第 17 章　第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ①世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ②第二次世界大戦 ③新しい国際秩序の形成	
	現代史② （戦後史）	第 18 章　冷戦と第三世界の台頭 ①冷戦の展開 ②第三世界の台頭とキューバ危機 ③冷静体制の動揺 第19章　冷戦の終結と今日の世界 ①産業構造の変容 ②冷戦の終結 ③今日の世界 ④現代文明の諸相	
2	問題演習 探究活動	日大基礎学力テスト演習共通テスト演習 グループ・個人による探究活動を実施	適宜、問題演習を扱う